



■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE横浜2022年版v.1.1

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	Sports Center SANITAS 建設工事	階数	地下1F,地上3F
建設地	横浜市青葉区奈良町土橋2713-1他	構造	SRC造
用途地域	法22条区域	平均居住人員	300 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,500 時間/年(想定値)
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年1月 予定	評価の実施日	2023年10月3日
敷地面積	12,010 m ²	作成者	石田哲史
建築面積	7,435 m ²	確認日	2023年10月3日
延床面積	14,283 m ²	確認者	左右田浩文



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 3.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100%
②建築物の取組み 64%
③上記+②以外の 64%
④上記+ 64%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 4.1

LR のスコア = 4.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>・学校のスポーツ施設として快適な環境を創出しながら、外皮性能を高め、高効率な設備機器の導入により環境負荷の低減を図るとともに、ライフサイクルCO₂排出量の低減に努めている。</p>	-
<h4>Q1 室内環境</h4> <p>・ほぼ全面的にF☆☆☆☆の建材を使用し、全館禁煙として室内の良好な空気質環境の確保を図っている。</p>	<h4>Q3 室外環境 (敷地内)</h4> <p>・視点場からの外観バースによる検討等、良好な景観形成へ配慮した取り組みがある。</p>
<h4>LR1 エネルギー</h4> <p>・外皮性能を高め、効率のよい空調機器・全面的なLED照明の導入など、高効率な設備システムを導入することで省エネルギー化を図っている。</p>	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <p>・周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。</p>
<h4>Q2 サービス性能</h4> <p>・将来の用途変更の可能性等を考慮し、建物の階高、空間の形状・自由さのゆとりを計画している。</p>	
<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <p>・O Aフロアの採用によって部材の再利用可能性向上を図り、躯体と仕上材の分離を容易にすることで、解体時におけるリサイクルを促進させる対策がある。</p>	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■ LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

<非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **Sports Center SANITAS 建設工事**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

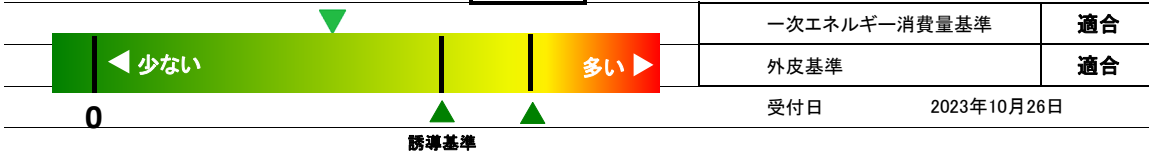
重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

5

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **45** %削減



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

主要な用途別エネルギー消費内訳を把握できる。

ライフサイクルCO2排出量の低減

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【快適・働きやすさ】

4

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

空調(吹出)方式: 床吹き出し

天井裏を含めほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

天井高: 3.2m以上

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防災】

4

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

耐震性の割増を行っている。

耐用年数の長い設備機器を使用している。

屋根に揺れを抑える装置を導入している。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

4

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

まちなみに配慮した景観計画としている。

地形を活かしたまとまった緑地の確保

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入

BEMS

木材利用



CASBEE横浜2022年版v.1.1
Sports Center SANITAS 建設工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.1

スコアシート	実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	配慮項目	重点項目 <非住宅> <集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質							
Q1 室内環境							
1 音環境							
1.1 騒音							
1.2 遮音							
1 開口部遮音性能							
2 界壁遮音性能							
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							
1.3 吸音							
2 温熱環境							
2.1 室温制御							
1 室温 快適・働きやすさ ⑨温熱環境							
2 外皮性能 快適・働きやすさ 健康・安心 ⑨温熱環境 ⑤外皮性能							
3 ソーン別制御性 快適・働きやすさ ⑨温熱環境							
2.2 湿度制御 快適・働きやすさ ⑨温熱環境							
2.3 空調方式 快適・働きやすさ ⑨温熱環境							
3 光・視環境							
3.1 昼光利用							
1 昼光率 快適・働きやすさ ⑩光環境							
2 方位別開口 快適・働きやすさ ⑩光環境							
3 昼光利用設備 快適・働きやすさ ⑩光環境							
3.2 グレア対策							
1 昼光制御 快適・働きやすさ ⑩光環境							
3.3 照度 快適・働きやすさ ⑩光環境							
3.4 照明制御 快適・働きやすさ ⑩光環境							
4 空気環境							
4.1 発生源対策							
1 化学汚染物質 快適・働きやすさ ⑪空気環境							
4.2 換気							
1 換気量 快適・働きやすさ ⑪空気環境							
2 自然換気性能 快適・働きやすさ ⑪空気環境							
3 取り入れ外気への配慮 快適・働きやすさ ⑪空気環境							
4.3 運用管理							
1 CO ₂ の監視 快適・働きやすさ ⑪空気環境							
2 喫煙の制御 快適・働きやすさ ⑪空気環境							
Q2 サービス性能							
1 機能性							
1.1 機能性・使いやすさ							
1 広さ・収納性 快適・働きやすさ ⑫機能性							
2 高度情報通信設備対応 快適・働きやすさ ⑫機能性							
3 バリアフリー計画 快適・働きやすさ ⑫機能性							
1.2 心理性・快適性							
1 広さ感・景観 快適・働きやすさ ⑫機能性							
2 リフレッシュスペース 快適・働きやすさ ⑫機能性							
3 内装計画 快適・働きやすさ ⑫機能性							
1.3 維持管理							
1 維持管理に配慮した設計 快適・働きやすさ ⑫機能性							
2 維持管理用機能の確保 快適・働きやすさ ⑫機能性							
2 耐用性・信頼性							
2.1 耐震・免震							
1 耐震性 防災 ⑮耐震・免震							
2 免震・制振性能 防災 ⑮耐震・免震							
2.2 部品・部材の耐用年数							
1 躯体材料の耐用年数 防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上							
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔 防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上							
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上							
4 空調換気ダクトの更新必要間隔 防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上							
5 空調・給排水配管の更新必要間隔 防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上							
6 主要設備機器の更新必要間隔 防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上							
2.4 信頼性							
1 空調・換気設備 防災 ⑰信頼性							
2 給排水・衛生設備 防災 ⑰信頼性							
3 電気設備 防災 ⑰信頼性							
4 機械・配管支持方法 防災 ⑰信頼性							
5 通信・情報設備 防災 ⑰信頼性							
3 対応性・更新性							
3.1 空間のゆとり							
1 階高のゆとり							
2 空間の形状・自由さ							
3.2 荷重のゆとり							
3.3 設備の更新性							
1 空調配管の更新性							
2 給排水管の更新性							
3 電気配線の更新性							
4 通信配線の更新性							
5 設備機器の更新性							



CASBEE横浜2022年版v.1.1

Sports Center SANITAS 建設工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.1

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数				
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-			-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-			4.1	
1	生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	⑧生物環境の保全と創出	4.0	0.30	-	-			4.0
2	まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	5.0	0.40	-	-			5.0
3	地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-			3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり	⑩地域性への配慮	3.0	0.50	-	-			-
3.2	敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ	⑪敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-			-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-			4.0	
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-			4.7	
1	建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	5.0	0.20	-	-			5.0
2	自然エネルギー利用		省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	4.0	0.10	-	-			4.0
3	設備システムの高効率化		省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	5.0	0.50	-	-			5.0
4	効率的運用				4.0	0.20	-	-			4.0
	集合住宅以外の評価				4.0	1.00	-	-			-
4.1	モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	5.0	0.50	-	-			-
4.2	運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-			-
	集合住宅の評価				-	-	-	-			-
4.1	モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-			-
4.2	運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-			-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-			3.5	
1	水資源保護				3.4	0.20	-	-			3.4
1.1	節水				4.0	0.40	-	-			-
1.2	雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-			-
1	雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-			-
2	雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-			-
2	非再生性資源の使用量削減				3.6	0.60	-	-			3.6
2.1	材料使用量の削減				3.0	0.10	-	-			-
2.2	既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-			-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-			-
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				4.0	0.20	-	-			-
2.5	持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10	-	-			-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み				5.0	0.20	-	-			-
3	汚染物質含有材料の使用回避				3.6	0.20	-	-			3.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用				4.0	0.30	-	-			-
3.2	フロン・ハロンの回避				3.5	0.70	-	-			-
1	消火剤				-	-	-	-			-
2	発泡剤(断熱材等)				4.0	0.50	-	-			-
3	冷媒				3.0	0.50	-	-			-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-			3.6	
1	地球温暖化への配慮				4.4	0.33	-	-			4.4
2	地域環境への配慮				3.1	0.33	-	-			3.1
2.1	大気汚染防止				3.0	0.25	-	-			-
2.2	温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-			-
2.3	地域インフラへの負荷抑制				3.5	0.25	-	-			-
1	雨水排水負荷低減				5.0	0.25	-	-			-
2	汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-			-
3	交通負荷抑制				2.0	0.25	-	-			-
4	廃棄物処理負荷抑制				4.0	0.25	-	-			-
3	周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-			3.2
3.1	騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-			-
1	騒音				3.0	1.00	-	-			-
2	振動				-	-	-	-			-
3	悪臭				-	-	-	-			-
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-			-
1	風害の抑制				3.0	0.70	-	-			-
2	砂塵の抑制				-	-	-	-			-
3	日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-			-
3.3	光害の抑制				4.4	0.20	-	-			-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				5.0	0.70	-	-			-
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-			-
上記以外の重点項目											
<事務用途>											
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ		⑬知的生産性向上への取組	-	-	-			-	
<住宅用途>											
健康と安心											
1	化学汚染物質の対策		健康・安心	⑭健康対策	-	-	-			-	
2	適切な換気計画		健康・安心	⑭健康対策	-	-	-			-	
3	結露・カビ対策		健康・安心	⑭健康対策	-	-	-			-	
4	犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	⑮防犯対策	-	-	-			-	